

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり		
	施策	3	交通計画		
				都市整備部	谷本 浩司

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 人と環境にやさしい持続可能な集約連携型都市の構築を目指し、自動車交通を円滑に処理する視点での道路整備だけでなく、公共交通による移動の利便性を確保するとともに、安心・安全な交通環境を創出し、鉄道、バス、自動車、自転車、徒歩など交通移動手段の適切な組合せによる交通体系の構築に向け、多様な主体の協働による交通まちづくりに取り組みます。

2. 令和3年度の実施内容及びその成果



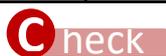
- ・地域コミュニティバス運営協議会や近畿大学工業高等専門学校との共同研究により市民アンケートの分析やバス利用者アンケートを実施し、市民の公共交通への意識や利用実態を調査しました。また、それらを市民、交通事業者、行政等から構成する名張市地域公共交通会議において議論し、「名張市地域公共交通網形成計画」を引き継ぐ新たな計画として「名張市地域公共交通計画」の策定に着手しました。
- ・コミュニティバス運営協議会、運行事業者等と構成する名張市地域公共交通連携協議会において各路線の運行評価を行い、見直し・改善へとつながっていく取り組みを実施しました。令和3年度はあららぎ号の予約運行及びフリー乗降の実施、はたっこ号のバス停変更、ほっとバス錦事業者変更について協議した後、名張市地域公共交通会議に諮りました。
- ・利用者目線に立ったわかりやすい情報提供に努め、主要バス停における行き先時刻表の設置やコミュニティバス路線図の活用や、YouTubeによるコミュニティバスの紹介動画を作成するなど、公共交通の利用促進に向けた啓発活動を実施しました。
- ・市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」は新型コロナウイルス感染症対策及び車両の老朽化に伴い中型車両に変更しました。変更については、新たな財政支出を抑えるため、これまでのような専用車両ではなく委託事業者が保有する車両を利活用することとしました。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による外出自粛等からコミュニティバスの利用者が減少しており、各地域の協議会で運行するコミュニティバスの継続運行及び地域住民の移動手段の維持、確保のため地方創生臨時交付金を活用し補助金の上乗せを実施しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	38.5	
	成果	36.4	37.3	38.8	42.9	40.6		100.0%
コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数(人)	目標	-	-	-	-	-	180	
	成果	173	178	180	149	154		0.0%
公共交通の利用促進に向けた啓発活動をした回数【延べ数】(回)	目標	-	-	-	-	-	30	
	成果	5	10	15	15	16		44.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛によるすべての公共交通において利用者が激減しており、コミュニティバスにおいても同様に、利用者が減少し1年を通じ利用者が回復しない状況が継続しています。また、高齢化や地域人口の減少なども影響し、コロナ後の利用者回復も見込めない状況にあります。
- ・地域が事業主体となるコミュニティバスの運行経費は、市の支出による補助金及び運賃収入により賄われています。利用者の減少に伴い運賃収入も減少し運行経費の不足分は地域において負担しなければならず、将来的な運行の継続に支障をきたし始めている路線もあります。
- ・公共交通全体の利用者が減少する一方、高齢者の免許保有率は増加しており、自家用車依存からの脱却や運転免許返納後も安心して暮らせるように、代替の移動手段としてバスは重要な移動手段であり、今後、鉄道や路線バス、コミュニティバス、タクシーなど様々なモードが一体となった誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築するとともに、利用者目線に立った分かりやすい情報の提供に取り組んでいく必要があります。しかしながら、今後は、公共交通の利用自体が難しくなる高齢者が増加することも想定する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和4年度以降)



- ・バスをはじめとする公共交通での移動のみならず、福祉や医療等あらゆる移動手段との連携活用の検討、またコロナ禍による利用者の動向も含め、現状の把握等を行い、持続可能な地域公共交通サービスの維持による市民の移動手段の確保に向け、「(仮称)名張市地域公共交通計画」を策定します。
- ・利用者目線に立ったわかりやすい情報の提供に努め、主要バス停における行き先時刻表の設置、コミュニティバス路線図の活用、各路線紹介動画の作成など、新規利用者の獲得、利用者の利便性を高めるための取組を引き続き実施します。
- ・過度な自動車利用から公共交通を使用する生活への転換を促すため、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、バスの乗り方教室の開催や各種イベントでのバス車両の展示やお絵かきバスを実施するなど、公共交通の利用が身近に感じることが出来るイベントを開催します。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	コミュニティバス運行補助金	都市整備部	都市計画室	地域コミュニティ交通推進方針に定める交通空白地域及び交通不便地域において、地域住民によって組織された運行協議会が実施する地域コミュニティ交通運営事業に対し運営補助や支援を行いました。 ・コミュニティバス運行補助金 4地域 ・コミュニティバス障害者運賃免除分助成金	13,355	0	12,450
一般	公共交通対策事業	都市整備部	都市計画室	交通不便地域において、地域コミュニティバス事業等の推進を図るとともに、コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行を行いました。また、利用の実態の変化に対応するため、ナッキー号の車両の大型化の検討及びあららぎ号の運行計画の見直しを進めました。 名張市地域公共交通網形成計画に基づく事業及び、評価等を実施するための地域公共交通会議を開催しました。	24,792	20,664	24,507